

課題		対応の方向性
《技術面の課題》	CM字幕の安定的な運用の確立ができていない	複数社提枠の番組での新たなトライアルの実現に向けて取り組みを推進する。
	放送設備が一部、CM字幕に対応していない	設備改修時期に合わせ放送局設備（マスター、営放システム、CMバンク等）をCM字幕対応のものとする。 ※具体的な現状把握が必要
《運用面の課題》	業務フロー確立や業務量増大への対応ができていない	CM字幕に係る放送局内の業務フロー（CM素材の搬入から送出まで）を確立させること及び、業務量の増大への対応を進める。
	CM字幕に係る取引ルールの合意ができていない	追加費用の負担や「放送不体裁」の際の取り決め等、CM字幕に係る取引ルールについての整備を進める。
	CM字幕搬入ルールが確立できていない	①「トライアルにおける字幕付きCM素材搬入ガイドライン」にトライアルで得られた知見を反映する。 ②同ガイドラインをベースに「テレビCM素材搬入基準」を改訂する。



※ 目標時期や主体については、別途精査していく。

課題		対応の方向性
《周知等に係る課題》	広告主や国民のCM字幕に対する認知度が低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>① トライアルの事例を増やすことにより視聴機会の拡大を図る。</li> <li>② CM字幕の存在や視聴方法等の周知を行う。</li> <li>③ クローズドキャプションの字幕とテロップ等その他の字幕の違いの理解を促進する。</li> <li>④ 業界団体内での普及啓発活動を推進する。</li> </ul>
《普及に向けた課題》	CM字幕の表示方法の規格について当事者の意見を十分反映すべき	「CC字幕付TVCMトライアル放送2013 制作・入稿作業進行要領」を障害当事者の意見を今後も幅広く聞きつつ改訂する。
	関係3団体が、情報や課題を共有する場がない	関係3団体が連携する場を設け、課題の検討等を行う。
	CM字幕の制作会社が少ない	CMへの字幕付与に係る情報やノウハウの共有や、CMへの字幕付与を行うポストプロダクションの育成を行う。
	CM字幕の普及までの道筋が見えない	取組目標や目標達成時期等を定めたロードマップを策定する。
	その他の諸課題	BSやCS放送における高齢者向けのCM番組等についても字幕の付与を検討する。